

みこころの聖母会

来日十周年記念ミサ

○五年十二月十日、みこころの聖母会の来日十周年の記念ミサと祝賀会が城北橋教会で行われました。

当日は、百五十人近い方々が集まり、名古屋教区野村純一司教様司式のもと、みこころ布教会の神父様方と共にミサが行われました。説教の中で野村司教様は、この十年のシスター達の活動、特に外国人司牧の面について謝辞を述べられました。



ミサ後には、一階のホールにて祝賀パーティーが行われ、プロジェクタでこの十年の歩みなどが紹介されたり、シスター方の踊りや歌などで楽しいひと時を過ごしました。

みこころの聖母会は、九五年の十二月に名古屋に来日。その後、九九年に神戸、〇三年には福井へと活動を広めてきました。

また、昨年三月には日本ではじめて、シスター林明恵さんの初誓願、十一月には、十年間お世話になった、シスターメリーが、みこころの聖母会の総長となられ、大きな喜びが重なった年となりました。

シスター方の今後ますますのご活躍を心よりお祈りいたします。



フアビアン神学生 ロバート神学生 母国へ

聖心布教会の海外宣教の体験学習プログラムの一環として、〇三年の七月にパプア・ニューギニア管区から来日した二人の神学生、フアビアン神学生とロバート神学生が二年半の実習を終え、二月八日帰国しました。

帰国前の日曜日には、ミサの最後にそれぞれ神学生たちが日本語でお礼の挨拶を述べ、信徒会からせん別が送られました。ミサ後には日曜学校の子ども達と一緒に歌を歌いながら別れを惜しんでいました。

二人の神学生は、司祭となり、日本での司牧活動を望んでおられました。数年後、彼らがまた、日本で活躍してくれることを願ってやみません。

